

令和6年度 第2回 高浜地区学校運営協議会会議録

開催日時 2024年9月13日(金) 10:30~12:00
 場 所 辻堂市民センター 3階ホール
 事務局 高砂小学校

出席委員	<p>今福 美佐子 (会長・高浜地域子ども支援会議会長) 町田 一郎 (副会長・高砂小学校校長) 川邊 尚子 (副会長・浜見小学校校長) 池田 裕 (副会長・高浜中学校校長) 横田 淳一 (辻堂市民センター長) 禹 在勇 (湘南工科大学職員) 永井 由美子 (辻堂西地区主任児童委員) 村上 純子 (藤沢市社会福祉協議会辻堂地区担当CSW) 吉田 秀樹 (辻堂まちづくり会議委員) 鷹野 三枝子 (辻堂地区青少年育成協力会副会長) 善波 七保美 (辻堂公民館運営員) 吉川 美咲 (辻堂砂山児童館(ぐうちよきばあ)館長) 高田 理恵 (高砂小学校保護者) 横田 沙弥 (浜見小学校令和5年度PTA会長) 新谷 咲子 (高浜中学校保護者) 磯部 春菜 (高砂小学校PTA代表) 和田 今日子 (高砂小学校保護者) 南 英代 (高砂小学校前教頭) 山田 泰司 (高砂地区社会体育振興協議会) 安藤 正俊 (高砂小学校協力者) 池上 功二 (浜見地区社会体育振興協議会) 柴田 喜代登 (浜見小学校おはようボランティア) 佐々木 美穂 (浜見児童クラブ長) 高木 浩一 (高浜中学校協力者 辻堂まちづくり会議委員) 阿曾 理英子 (高砂小学校教頭) 西田 将之 (浜見小学校教頭) 市川 信子 (高浜中学校教頭) 中村 研太 (高浜中学校教諭(地域連携担当))</p> <hr/> <p>出席委員：28名 (欠席委員：3名) 傍聴人数： 2名</p>
次第	<p>【全体会】 1.挨拶 2.議題 (1) 地域学校協働活動推進員(コーディネーター)について (2) 県地域学校協働活動推進事業費補助金について (3) 学校からの意見・要望について</p> <p>【専門部会】 (4) 部会ごとの協議</p>

	<p>【全体会】 (5) 部会報告 (6) その他 3. その他 ・今年度の会議日程(予定)について</p>
協議内容	<p>【全体会】 2. 議題 (1) 地域学校協働活動推進員(コーディネーター)について 地域学校協働活動推進員の位置づけ及び使命・目的、期待される役割、令和6～7年度は試行的に配置し検証する期間とすること、候補者のいる学校から順次配置することについて、事務局より説明を行った。 地域学校協働活動推進員の推薦について、会長・副会長で検討のうえ、候補者本人の意向確認を経て教育委員会に推薦書を提出してよいか確認を行った。 (吉田委員) 統合型コミュニティ・スクールにおける地域学校協働本部の数は、学校に1つか、コミュニティ・スクール全体で1つか。 (事務局) コミュニティ・スクール全体で1つであるが、学校独自の協働活動については、学校ごとに動いていただくことになる。 確認事項について了承された。</p> <p>(2) 県地域学校協働活動推進事業費補助金について 県地域学校協働活動推進事業費補助金の基本的な配分方針及びスケジュールについて、事務局より説明を行った。 各校で進める地域学校協働活動の経費(有償ボランティア費、消耗品等)について、会長の証人を受けて使用し、教育委員会へ報告してよいか確認を行った。 委員からの質疑等はなく、確認事項について了承された。</p> <p>(3) 学校からの意見・要望について 事務局より説明を行った。</p> <p>【専門部会】 (4) 部会ごとの協議 議題(3) 学校からの意見・要望等をもとに、各専門部会において、今年度以降実施できそうな活動について協議を行った。</p> <p>【全体部会】 (5) 部会報告 《人材発掘・活用部会》 ・各学校からは、ゲストティーチャー(専門的内容や地域学習関連)、安全面の補助、施設の維持・管理に関する地域人材へのニーズが挙がっている。 ・地域学校協働活動推進員(コーディネーター)が各学校長と定期的に打合せを行い、学校のニーズを把握したうえで、地域の中で人材を発掘し、つなぎ役となって協力を依頼する方向がよい。 ・人材の受け皿としては、保護者、大学、公民館、まちづくり会議などが考えられる。</p>

《防災・安全部会》

- ・ 3校合同での引き渡し訓練の実施を検討したい。訓練の計画は学校間で調整して行うが、学校運営協議会委員が訓練に立ち会い、効果や課題点等についてアドバイスすることで、改善につながるとよい。
- ・ 小中両方に兄弟姉妹が在籍する場合の引き渡し方法について、緊急時は保護者が各校で引き取る方が安全確実だが、留め置きが長時間になった場合は、兄弟姉妹を1校に集めた方が児童生徒の安心につながるとの意見があった。
- ・ 災害時、保護者が帰宅困難で引き取りに時間がかかる場合などに、学校で職員とともに子どもの安全を見守る地域のサポートグループをつくりたい。地域ごとの担当を決めて、平常時に児童との顔合わせをしておくとうい。

《児童・生徒支援部会》

- ・ 支援の人材バンクをつくり、各学校の要望に応じて人材を派遣できるようにしたい。
- ・ 人材を選ぶにあたっては、子どもへの対応であることを考慮し、面談や資格確認等を慎重に行いたい。
- ・ 保護者が早朝に出勤せざるを得ない場合など、登校時間以前に独りになってしまう子どもの居場所づくりについて話し合った。早朝の校門前での見守りから始めていきたい。



(6) その他

- (新谷委員) 高砂小学校の通学路が9月から一部変更したことについて、保護者には案内があったが、新たな通学路の近隣住民等への周知は行っているか。
- (高砂小) 新たな通学路の近隣自治会や集合住宅に対して、回覧板や掲示板により周知を図っている。また、新たな通学路を安全に通行できるよう、警察や市担当課にも相談し、標識・看板等の設置を検討している。
- (和田委員) このことについて、高浜中学校交通安全対策協議会で話題にし、安全対策を考えていきたい。

以上